

所属名	ひまわりの丘第一学園	所属長名	伊藤 園美
主目標			
・児童の権利を擁護し最善の利益を保障する基本姿勢の下、児童期の発達段階や障がい特性に応じた専門的・個別的支援機能の強化を図る。			
重点事業			
①虐待防止対策を最重要課題とし、外部講師による虐待防止研修会及び施設内での虐待防止研修会や学習会を継続実施・参加し職員の意識向上に努める。また、自閉症・発達障がい児等へのより専門的知識を身に付けるなど、職員のスキルアップを図り、障がい特性やニーズに応じた個別支援の充実をめざし、利用者が安心して健康で豊かな生活が送れるよう支援する。			
②各関係機関との連携強化を図り、家庭復帰や卒業後の進路決定に向けて支援を行うとともに、重い障がいのある児童の受け入れも積極的に行えるよう努める。			
③地域のニーズを把握し、短期入所・日中一時支援を調整、受け入れることで、地域に暮らす障がい児及びご家族の安心に繋げていく。			
チーム目標			
・企画経営担当			
① 施設機能の有効利用及び環境整備 施設機能の状況を定期的に巡回し確認します。修繕等必要な箇所については早急に職員で対応、又は業者と連携を取り改善に努め、利用者の安心・安全な環境の提供を行う。			
② 経費削減の努力 節電、節水等、サービス提供に支障のない範囲で節約し、経費削減に努める。			
③ 社会資源の役割を自覚し、健全な経営を目指す（重点目標②③） 子ども相談センター等関係機関との連携を図り、入所利用者獲得に繋げる。 （目標入所率 75%） 在宅障がい児やその家族のニーズに応え、短期入所・日中一時支援を受け入れることにより、障がい児の継続的な在宅生活を支援する。 （目標利用率 短期入所 35%・日中一時支援 10%）			
チーム目標			
・生活支援担当			
① <u>専門的支援の充実</u> （重点事業①） 施設内研修・ひまわりの丘研修等への積極的な参加及びサポーターズカレッジの活用により、職員のスキルアップを図る。また外部講師を依頼し、ケース研修を定期的に行うことにより、障がい児へのより専門的な知識を身に付け、障がい特性やニーズに応じた支援を行う。			
② <u>個別支援の充実</u> （重点事業①②） 個別支援計画書は、援助指針をもとに本人・ご家族ともよく話し合い、障がい特性やニーズに応じた支援目標を設定する。各々の目標達成に向けて、丁寧な支援を継続する。			
③ <u>関係機関との連携</u> （重点事業②③） 子ども相談センター等との連携強化を図り、重い障がいのある児童の受け入れも積極的に行えるよう努める。また、特別支援学校・市町の福祉課等と連携を図り、高等部3名の進路決定に向けて支援していく。			

※チーム目標の（ ）内には、「重点事業の①」などと、関連する事業名を記載すること。